

# 令和5年産 美里地区の大豆情報



第6号 令和5年11月2日

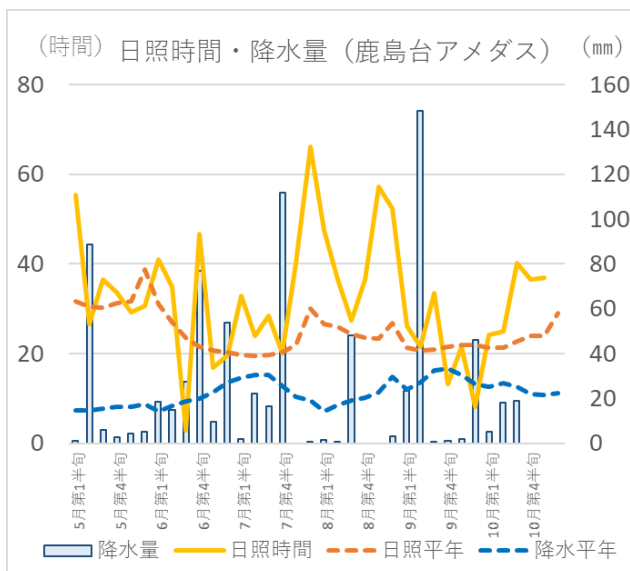
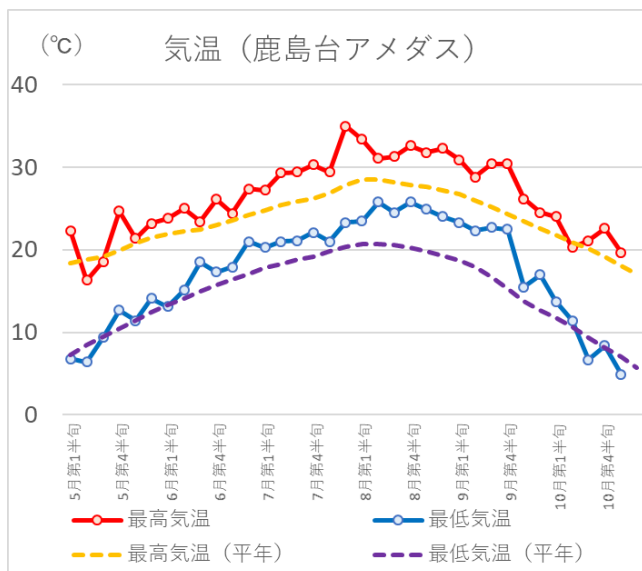
宮城県美里農業改良普及センター

TEL:0229-32-3115

FAX:0229-32-2225

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

## I 気象経過及び生育概況



- 高温傾向が続いていますが、平年との差は縮小し最低気温は平年を下回る期間も出ています。
- 日照時間は平年を上回る傾向が続いています。
- 降水量については、5月、6月、7月、9月に80~130mm/日前後のまとまった雨が降りました。

## 生育調査結果 (調査日: 10月30日)

品種	調査地点	播種日	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/㎡)	着莢節数 (節/㎡)	有効莢数 (莢/㎡)
タチナガハ	涌谷町岸ヶ森	6月19日	56.0	13.3	2.7	273.2	175.2	347.8
	大崎市田尻大沢	5月31日	60.7	14.3	3.2	171.9	128.5	315.4
	大崎市鹿島台木間塚	5月31日	60.8	14.2	2.8	270.6	191.4	339.3
	参考値: R3生育調査結果		59.8	13.2	3.8	344.0		545.0
ミヤギシロメ	涌谷町岸ヶ森	6月21日	84.3	16.0	2.4	294.4	187.8	315.4
	美里町青生	6月7日	76.6	12.5	4.1	261.1	156.9	334.8
	参考値: R3生育調査結果		70.0	14.1	4.6	449.0		506.0

※R3に管内(美里町及び大崎市田尻)で実施した生育調査結果

- タチナガハのほ場では落葉し成熟期に入ってきていますが、青立ち株が散見される状況です。管内のR3の生育調査結果(R4年度は欠測)と比較して、主茎長及び主茎節数はほぼ同様のほ場が多く、分枝数はやや少なめで有効莢数は少なめとなっています。
- ミヤギシロメについてもタチナガハより発生数は少なめですが青立ち株が散見されています。R3年の生育調査結果との比較では、主茎長はやや長め、主茎節数はほぼ同程度、分枝数はやや少なめで有効莢数は少なめとなっています。
- 一部のほ場ではアメリカセンダングサ、アオビユ、アサガオ類等の雑草が多発しています。

## 【本年度大豆の生育の特徴】

### 【標播】

- ・ 6月上旬までに播種できたほ場では、出芽揃い・初期生育は良好となりました。その後6月中旬～下旬にかけての断続的な降雨により播種が遅れ（6月中の降水量：201.5mm 平年比169%）、播種作業終了は6月下旬となりました。
- ・ 5月中播種のほ場では6月下旬頃から1回の中耕培土作業が実施されました。
- ・ 7月は19日、20日にあわせて105mmのまとまった降雨がありましたが、7月全体としては降水量は平年並みで多照傾向でした。
- ・ 8月は12日に42mmの降雨があったほかはほぼ降雨がなく、記録的な高温も重なって開花時期に水分が不足し、ほ場によっては極端な乾燥状態が続きました。9月に入ると高温傾向が続きましたが、上旬にまとまった降雨があり降水量は平年を上回りました。
- ・ タチナガハは10月上旬から落葉が、ミヤギシロメは中旬から葉の黄化・落葉が見られますが、青立ち株が平年より多い状況です。

### 【麦後晩播】

- ・ 麦類の収穫作業が順調に進んだことから、播種作業が順調に進み出芽は概ね良好でした。生育期間を通じて高温傾向のため生育量は確保されましたが、雑草の発生も早かったため、ほ場によっては雑草が多発しました。

## 2 今後の管理

### (1) 排水対策 急な大雨に備えましょう

- ・ 近年、大雨等の気象災害が多くなっています。雨後、一日でも早くほ場に入って作業ができるように、排水溝や明きよの点検・整備を実施しておきましょう。

### (2) 雑草、青立ち株の抜き取り 汚粒発生防止のため収穫前にはほ場をきれいにしましょう

- ・ 本年は、高温傾向が続き雑草の生育も早かったため、残草が多い傾向となっています。茎水分が高く、収穫時の汚粒発生の原因となり易い、アメリカセンダングサやタデ類、シロザ、イヌホオズキ等の雑草は刈り取りまでに抜き取っておきましょう。
- ・ 抜き取り作業をしなかったり、実施時期が遅かったりした場合は、雑草が成熟して多くの種子をほ場に落としてしまいます。雑草の成熟状況も勘案して作業計画を立てましょう。
- ・ 本年は大豆の青立ち株（株の大きさに対して莢数が少なく、茎が緑色のままの株）が多い傾向にあります。汚粒の原因となりますので、収穫前に必ず抜き取りましょう。
- ・ 抜き取りした雑草は、種子を落とした可能性が大きく、次作でも発生の可能性が高いことから、雑草の種類をほ場ごとにメモしておき、今後の雑草防除に役立てましょう。



写真 莢先熟の大豆

(みやぎの麦類・大豆栽培技術指導指針 より)

### (3) 収穫時期の判定 葉の黄化や落葉時期等を観察して収穫時期を計画しましょう

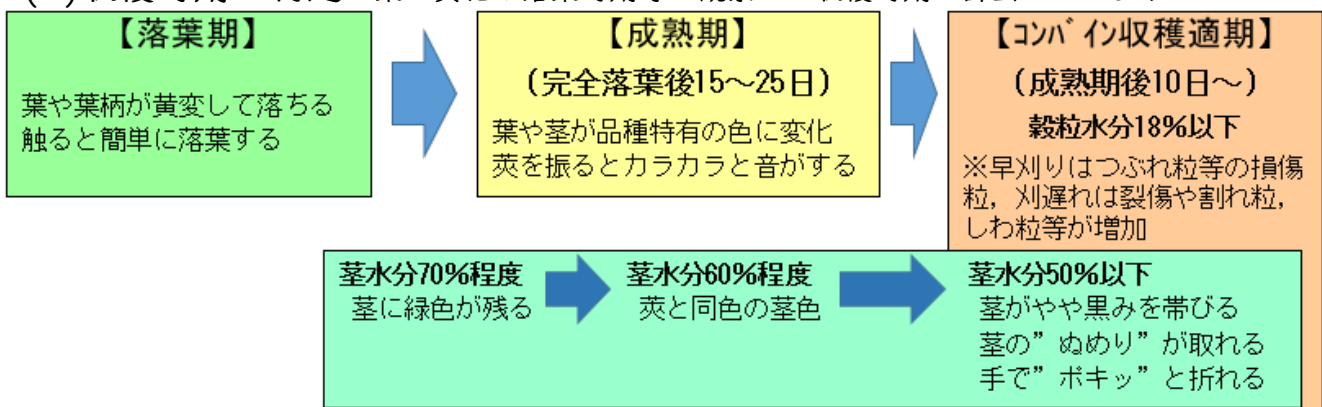


図1 大豆の成熟経過とコンバイン収穫適期

(4) 収穫作業 穀粒損失や損傷・汚粒発生による収量・品質低下を防ぎましょう

- 大豆では「収穫時の穀粒損失」が大きな減収要因となる場合があります。作業開始時や休憩時に収穫状況を確認しましょう。

○刈り残しロス	刈取高さを調整
○頭部損失	リールの位置、速度と作業速度の調整
○後部（排出）ロス	こぎ胴の処理能力と作業速度の調整

- 収穫時の穀粒水分が「高い」と「つぶれ粒」が、「低い」と「裂傷や割れ豆」が増加します。収穫時の穀粒水分（15～18%）を確認（子実に爪を立てると少し痕が残る）しましょう。

- 「汚粒」発生による品質低下を防ぎましょう。

○土の掻き込み	刈取高さは約 10 cm に調整、安定した収穫のできる運転技術
○雑草や大豆青立ち株	前日までに抜き取り終了
○コンバイン内部の汚れ	収穫前後に掃除、土掻き込み時の速やかな作業停止・掃除
○収穫時刻	茎や莢が乾いている時間帯（11 時～16 時）に収穫（右図参照）

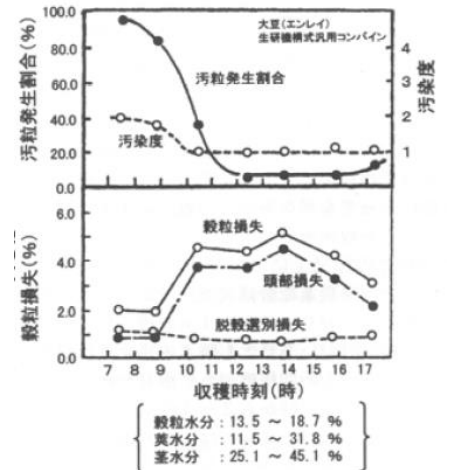


図2 収穫時刻と汚粒発生  
(みやぎの麦類・大豆栽培技術指導指針 より)

(5) 乾燥作業 子実水分に留意し、高品質な大豆に調製しましょう

- 大豆の乾燥は、初期水分、乾燥速度や温度によって、裂皮粒やしわ粒が生じ、品質低下の要因になる可能性があります。子実水分に留意しましょう。

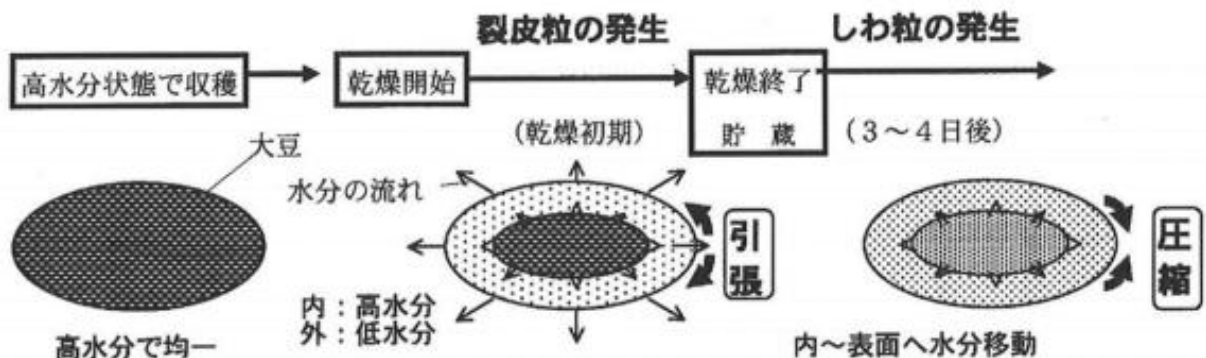


図3 大豆乾燥における被害粒発生機構(みやぎの麦類・大豆栽培技術指導指針 より)

ポイント

- 送風温度を 30℃以下にする（子実の平均水分が 18%を超えるロットはさらに送風温度を落として乾燥する）。
- 送風温度は晴天時には常温乾燥（無加温）とし、雨天や夜間時は常温+5℃程度を目安とする。
- 循環式乾燥機の場合、乾燥速度は緩やかに（毎時 0.35%以下）設定する。

◇◇◇秋の農作業安全確認運動実施中（9月1日～11月30日）◇◇◇  
令和5年度テーマ 「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」